

貴国原子力潜水艦に沈没させられた「えひめ丸」事故の原因究明と船体の早期引き揚げ等に関する要望書

2月10日(日本時間)ハワイ・オアフ島沖の南約18キロの海上で、愛媛県立宇和島水産高等学校の漁業実習船「えひめ丸」が貴国海軍の原子力潜水艦「グリーンビル」の急浮上により、衝突し、約600メートルの海底に沈没しました。

この事故により、えひめ丸に乗船していた生徒や教師など35人のうち、26人は救出されたものの、未だに9人が行方不明となっています。

この事故は、民間船舶の航行も多い海域で、しかも、原子力潜水艦に民間人を搭乗させ、十分な安全確認もせず、緊急浮上の体験デモンストラーションを行ったために起きたものとの報道がされています。

しかし、なぜこのような海域で、民間人を乗艦させ危険な緊急浮上訓練を行ったのか、安全確認は十分に行われたのか。なぜ、衝突直後に原潜は救助活動を行わなかったのかなど、未だ多くの疑問が解明されないままとなっています。

さらに、事故直後から今日に至るまで、えひめ丸の関係者をはじめ、日本国民に対しても、十分な情報が開示されているとは、とても言いがたい状況であります。

よって千代田区議会は、貴国政府に対し、今後二度とこのような事故を繰り返すことがないように、下記の事項を強く求めるものであります。

記

- 1 行方不明となっている9人の捜索を今後も継続し、全力を尽くすこと
- 2 早期に徹底した事故の原因を究明し、その内容を全て公表すること
- 3 海底に横たわる愛媛県立宇和島水産高等学校の漁業実習船「えひめ丸」の船体の引き揚げを一刻も早く行うこと
- 4 事故に関する情報は、逐次公開すること

5 原子力潜水艦の訓練のあり方を見直し、再発の防止策を講じること

平成13年2月22日

千代田区議会議長 石渡 伸幸

米国合衆国大統領 宛